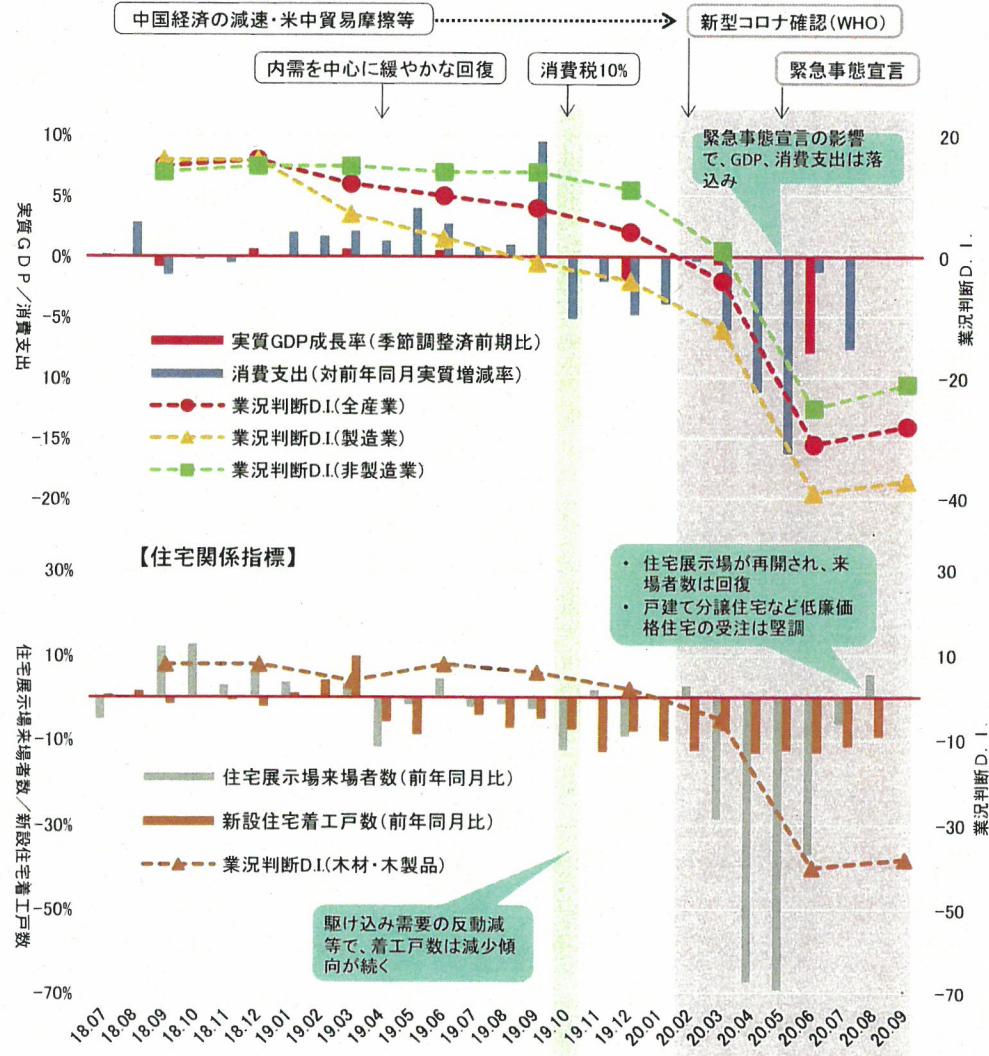


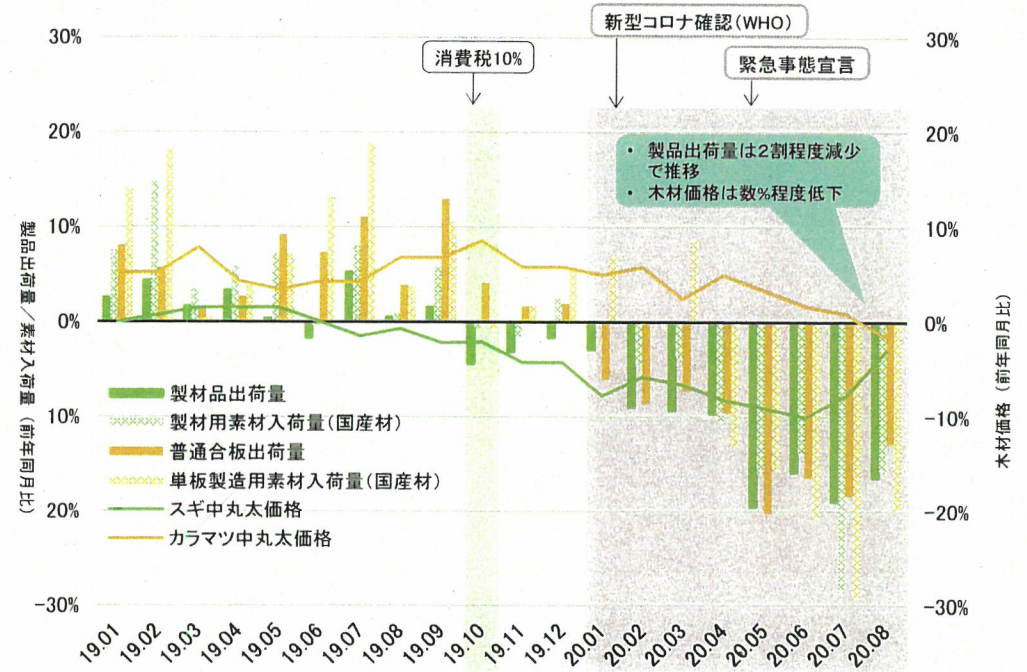
新型コロナウイルス感染症による影響

- 新型コロナウイルス感染症は内外経済に甚大な影響をもたらしており、我が国経済を大幅に下押し。
- 木材需要の不透明感が増す中、製材・合板製品の出荷量が減少。それに伴い、原料となる素材入荷量も減少。スギ丸太価格は低下傾向。民間シンクタンクは、新設住宅着工戸数が減少するとの予測。

■ 一般経済と住宅関係指標等の動向



■ 工場の素材入荷量・出荷量と丸太価格の動向



※農林水産省「木材統計調査」、「木材価格統計調査」

■ 民間シンクタンクの予測 (コロナ後)

	2019年度 (実績)	民間シンクタンク等10機関平均(見通し)	
		2020年度	2021年度
新設住宅着工戸数	88.4万戸	78.4万戸 (73.7~81.0万戸)	80.2万戸 (75.5~84.6万戸)

※内閣府「国民経済計算」、総務省「家計調査」、日本銀行「全国企業短期経済観測調査」、住宅展示協議会・一般社団法人住宅生産振興財団調べ、国土交通省「住宅着工統計」

※2019年度の実績:国土交通省「住宅着工統計」

※2020年度、2021年度の見通し:(独)住宅金融支援機構「最近の住宅着工動向等に関する資料」(令和2年9月)

新型コロナウイルス感染症による影響

- 新型コロナウイルス感染症は、我が国の林業・木材産業にも大きな影響をもたらしており、今後の木材需要の不透明感が川上に向けても波及。
- 新設住宅着工戸数は前年同月比1割程度の減少にとどまり、プレカット工場の稼働率も9割程度と堅調に推移しているものの、合板・製材工場の減産により丸太入荷量は同2割程度減少。
- 林野庁においては、補正予算等により、経営の継続や需給調整、減少した需要の喚起等の対策に取り組んでいるところ。

■ 影響は川下から川上へ

川下

【木造住宅の受注】

- 4～8月の新設住宅着工戸数は1割程度の減少。
- 住宅展示場が再開され、大手の注文住宅会社の受注は回復傾向。戸建分譲住宅等大手ビルダーの受注は引き続き堅調。
- 本年度末まで影響が続き、着工戸数全体で1割程度減少するとの予想もあり。

【木材輸出】

- 3月には前年同月比73%まで落ち込んだが、8月の輸出額は29億円、同109%に回復。
- 中国、韓国、米国向けでは、8月単月の輸出額は同119～182%と順調に回復。

【木材産業】

- プレカット工場の稼働率は9割程度。
- 国産材製品の引き合いは鈍く、製材・合板の生産量・出荷量（8月）は、前年同月よりも2割程度の減少。
- 製材・合板工場の入荷制限により、原木価格は低下したが、7月下旬を境に、値上がり傾向。
- 木材需要の先行きは現時点では不透明。

川中

【林業】

- 製材・合板工場の減産により、丸太の工場入荷量（8月）は、前年同月よりも2割程度減少。
- 林業事業者では、生産を伴わない保育間伐へのシフトなど生産調整の動き。国有林でも立木販売の一時延期などを実施。
- 丸太価格は、全国的に半年近く値下げ相場が続いたが、7月下旬を境に底入れし、値上がり傾向。（8月のスギ中丸太価格は前年同月比97.0%、カラマツ中丸太価格は同98.4%）

川上

(参考)新設住宅着工戸数(対前年同月比) (単位:万戸)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
総数	7.1 (92%)	6.9 (87%)	6.4 (88%)	7.1 (87%)	7.0 (89%)	6.9 (91%)
うち木造	4.0 (97%)	3.9 (86%)	3.6 (84%)	4.1 (86%)	4.0 (87%)	3.8 (88%)

資料:国土交通省 住宅着工統計

(参考)住宅会社の受注金額速報値の対前年同月比

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
注文系大手住宅8社	77%	64%	67%	85%	91%	108%
大手ビルダー6社	80%	99%	121%	117%	125%	139%

資料:日刊木材新聞調べ

(参考)木材輸出額(対前年同月比) (単位:億円)

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
24 (83%)	26 (73%)	31 (90%)	27 (92%)	33 (101%)	33 (122%)	29 (109%)

資料:財務省 貿易統計

(参考)プレカット工場稼働率調査

5月	6月	7月	8月	9月 (受注)	10月 (見積)
89.0%	90.9%	91.6%	89.4%	94.0%	85.9%

資料:日刊木材新聞調べ

(参考)製材製品出荷量(対前年同月比)(単位:千m³)

3月	4月	5月	6月	7月	8月
706 (91%)	717 (90%)	627 (80%)	656 (84%)	656 (81%)	608 (84%)

資料:農林水産省 木材統計調査

(参考)製材・合板用素材(国産材)入荷量
(対前年同月比) (単位:千m³)

3月	4月	5月	6月	7月	8月
1,534 (99%)	1,364 (89%)	1,257 (84%)	1,264 (84%)	1,053 (71%)	1,067 (83%)

資料:農林水産省 木材統計調査

(参考)9月第1週スギ丸太価格(対前年同月比)

[径級24cm程度、長さ4m程度の中丸太]	
岡山県	9,500円/m ³ (▲14%)
宮崎県	12,200円/m ³ (▲5%)
大分県	14,800円/m ³ (7%)

■ 林業・木材産業関係の主な対策

	補正予算等の対策
経営の継続	<ul style="list-style-type: none"> 経営継続補助金 持続化給付金 雇用調整助成金
資金繰り支援	<ul style="list-style-type: none"> 農林漁業セーフティネット資金等による実質無担保・無保証人による融資 債務保証に係る保証料の免除 等
需給調整等	<ul style="list-style-type: none"> 原木生産を伴わない森林整備 国有林の立木販売の一時延期や搬出期間の無償延長 輸出原木保管等緊急支援 (滞留する原木を一時保管する際の掛かり増し費用を支援)
減少した需要の喚起	<ul style="list-style-type: none"> 過剰木材在庫利用緊急対策 (行き場のなくなった輸出向け原木を有効活用するため、公共施設等における木材利用を支援) 大径原木加工施設整備緊急対策 (大径材を有効活用し、付加価値の高い木材製品に転換するための加工施設の整備を支援)